

いのち  
愛・生命そして未来へ

はが野

2016

# ミニディスクロージャー誌

～ J A 事業のご報告（平成 28 年 8 月期）～

## 1. 組合長挨拶



日頃より J A 事業に対しまして特段の御指導、ご協力を賜り心より厚くお礼申し上げます。まずは、この度の熊本地震及び北海道・東北地方を中心とする大雨等の災害でお亡くなりになられた皆さまに心より哀悼の意を表しますとともに、被災された皆さまにお見舞い申し上げ、一日も早く復興されることを祈念いたします。

さて、農業・農協を取り巻く情勢については、4月から改正農協法が施行され、農業所得の増大に最大限配慮することや理事の構成の見直し、准組合員の利用規制も検討されることが盛り込まれました。また T P P については、本国会において、T P P 承認案及び関連法案の採択が見込まれますが、依然不透明な部分が多く、農業や組合員の生活に大きな影響が出ることを懸念され予断を許さない状況です。再生産が可能な価格の確保ができる万全な国内政策を強く求めて参ります。

そのような状況の中、平成 28 年度上期を振り返りますと、所得確保対策として、飼料用米の作付推進を積極的に取り組んだ結果、1, 5 2 3 h a となり、平成 27 年産を上回る作付面積となりました。また、平成 28 年産いちごにおいては、販売額 9 0 億円を達成し、7 月には記念大会を開催することができました。これもひとえに、生産者・部会と J A はが野が一体となって努力した結果であるとともに、関係機関のご指導・ご協力の賜物であると考えています。その結果、事業内容としては、貯金残高 1, 7 5 5 億円、販売品販売高 1 1 7 億円となり、計画をやや上回ることができました。

当 J A では、5 月の第 1 9 回総代会において承認を頂いた「創造的自己改革への挑戦 3 か年計画」に基づき、「農業関連事業を強化し農業者の所得増大を図る」「地域農業を振興し農業生産の拡大に寄与する」「豊かで暮らしやすい地域社会の実現に貢献する」の 3 つを基本方針として、自己改革に取り組んでおります。

本年度は、6 月から担い手サポートデーを設定し、毎月 1 回、営農・経済・金融部門が一体となり、リストアップした担い手への訪問を実施することにより J A の総合力を活かした相談機能の強化を図るとともに、生産資材価格の引下げ等にも取り組み、販売力強化とあわせて、農業者の所得増大・農業生産の拡大に向けて取り組んでおります。また、1 0 月 1 0 日から、デイサービスセンターすこやか二宮が、新たに場所を移転し稼働します。お世話になった組合員・地域の皆様への恩返しとして、より一層のサービスの提供に努めて参ります。

ディスクロージャー誌の作成にあたっては、情報開示を通じて経営の透明性を高めるとともに、当 J A の主な事業の内容や組織概要、経営の内容などについて、利用者の皆様のために判りやすくまとめました。皆様が、当 J A の事業をさらにご利用いただくための一助として、是非ご一読いただきますようお願い申し上げます。今後ともより一層のご理解とご支援・ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

平成 28 年 10 月

はが野農業協同組合

代表理事組合長 黒崎 宣芳

## 2. 地域貢献に関する取り組み

### ● J Aはが野について

当 J Aは芳賀郡市の 1 市 4 町（真岡市・益子町・茂木町・市貝町・芳賀町）を事業区域として、農業者を中心とした地域住民の方々が組合員となって、相互扶助を共通の理念として運営される協同組織です。

当 J Aの資金はその大半が組合員の皆様などからお預かりした大切な財産である「貯金」を源泉としております。当 J Aでは資金を必要とする組合員の皆様方や地方公共団体などにもご利用いただいております。

当 J Aは、地域の一員として、農業の発展と健康で豊かな地域社会の実現に向けて事業活動を展開しています。また、J Aの総合事業を通じて地域の協同組合として、農業や助け合いを通じた社会貢献に努めています。

### 組合員及び出資金の推移

	平成 2 8 年 8 月 末	平成 2 8 年 2 月 末
ア. 組合員数		
正 組 合 員	1 5, 8 9 2 人	1 5, 9 3 7 人
准 組 合 員	4, 4 5 3 人	4, 3 9 5 人
合 計	2 0, 3 4 5 人	2 0, 3 3 2 人
イ. 組合員戸数		
正組合員戸数	1 3, 4 7 0 戸	1 3, 5 1 2 戸
准組合員戸数	3, 7 0 9 戸	3, 6 7 6 戸
合 計	1 7, 1 7 9 戸	1 7, 1 8 8 戸
ウ. 出 資 金	3, 5 3 9 百万円	3, 5 2 0 百万円

### ● 地域からの資金調達の状況（8月末）

#### 貯金・積金平均残高

組合員等	1 3 9, 3 6 2 百万円
そ の 他	3 4, 1 4 9 百万円
合 計	1 7 3, 5 1 2 百万円

（注）上記「組合員等」には、地方公共団体等からの貯金・積金 4, 0 0 1 百万円が含まれています。

### ● 地域への資金供給の状況（8月末）

#### （1）貸出金平均残高

組合員等	2 3, 2 6 6 百万円
そ の 他	1 0, 8 2 7 百万円
合 計	3 4, 0 9 4 百万円

（注）上記「その他」には、地方公共団体等への貸出金 6, 3 4 0 百万円が含まれています。

## (2) 融資取扱状況（平均残高）

住宅ローン	16,734百万円
教育ローン	114百万円
自動車ローン	663百万円
営農ローン	538百万円
日本政策金融公庫資金	92百万円
農業改良資金	—
農業近代化資金	394百万円
畜産特別資金	—
災害条例資金	0百万円
就農支援資金	99百万円
その他	15,457百万円
合計	34,094百万円

(注) 上記のうち「日本政策金融公庫資金、農業改良資金、農業近代化資金、畜産特別資金、災害条例資金、就農支援資金」は、制度融資といい、農業生産の振興や農業後継者の育成などを目的に、国等が一定の制度に基づいて行う金融のことを言います。

制度融資には大別して、国・県の財政資金による融資と、JA資金を原資として融資を行い、国、地方公共団体が利子補給を行う制度があります。

前者の代表的なものは日本政策金融公庫資金、農業改良資金であり、後者の代表的なものは農業近代化資金、畜産特別資金となっています。

## ● 文化的・社会的貢献に関する事項（地域との繋がり）

### (1) 文化的・社会的貢献に関する事項

JAは農業者が中心となって構成され、地域農業の振興を図り、消費者に安全で安心な農畜産物を安定的に供給することを基本使命としています。このため、農業関連を中心とした総合的な事業を展開しております。組合員以外の一般の方にも各種事業を利用していただくことにより、地域経済・社会の発展に寄与する社会的責任、金融機関の一員として信用の維持・貯金者の保護を確保する公共的使命などを果たしています。

また、次世代を担う児童・生徒たちに対しては、学校給食に地元農畜産物の提供、図画・作文コンクールの開催、社会科副読本の提供、田植えや収穫作業といった農作業体験を通じて、農業への関心を高める取り組みを行う一方、消費者対象の貸農園での農業体験や、農産物の展示即売会の開催などにより、地域住民との交流に努めております。

なお、平成27年度までは東日本大震災、平成28年度は熊本地震の被災地に対して、職員の派遣等、支援活動を実施しております。

### (2) 利用者ネットワーク化への取り組み

当JAでは、組合員相互の親睦を図るとともに、地域の皆さまとの結びつきを強化するため、毎年「JAまつり」を開催するなど、利用者ネットワークづくりへの取り組みを進めています。

### (3) 情報提供活動

組合員の皆様向けに、毎月広報誌「ベリーネットはが野」を発行して、JAの事業や地域の情報を提供しています。

また、地域住民の皆様への情報発信としてインターネット上にホームページを開設して身近でタイムリーな情報提供に努めるとともに、皆様からの情報やご意見をeメールでも受け付けております。



(JAはが野のホームページ)

ホームページ <http://www.ja-haganohara.or.jp>  
 eメール [h.soumu1@ja-haganohara.or.jp](mailto:h.soumu1@ja-haganohara.or.jp)

### (4) 店舗体制

店舗及び事務所名	住 所	電話番号	A T M設置台数
本 店	〒321-4303 真岡市八条 95	0285-83-7725	A T M 0 台 (0 台)
真 岡 支 店	〒321-4308 真岡市中郷 219-1	0285-84-6611	A T M 2 台 (2 台)
二 宮 支 店	〒321-4521 真岡市久下田 1710-1	0285-74-0020	A T M 1 台 (1 台)
益 子 支 店	〒321-4217 益子町益子 1994-5	0285-72-3246	A T M 1 台 (1 台)
茂 木 支 店	〒321-3564 茂木町増井 33-2	0285-63-1105	A T M 1 台 (1 台)
市 貝 支 店	〒321-3423 市貝町市埜 1715-1	0285-68-1311	A T M 1 台 (1 台)
芳 賀 支 店	〒321-3307 芳賀町祖母井南 1-2-1	028-677-0080	A T M 2 台 (2 台)

店舗以外A T M設置台数 16 台 (16 台)

(注) ( ) 内は手のひら生体認証対応のA T M台数です。

## ● 地域密着型金融への取り組み

### (1) 農業者等の経営支援に関する取り組み方針

当JAでは、農業者の協同組織金融機関として、「健全な事業を営む農業者をはじめとする地域のお客さまに対して必要な資金を円滑に供給していくこと」を「当JAの最も重要な役割のひとつ」として位置付け、当JAの担う公共性と社会的責任を強く認識し、その適正な業務の遂行に向け、金融円滑化にかかる基本方針等を定め、対応しています。

### (2) 農業者等の経営支援に関する態勢整備

当JAでは、ご利用者からの新規融資や貸付条件の変更等の申込みに対し、円滑に措置をとることが出来るよう、態勢を整備しています。

### (3) 農業者等の経営支援に関する具体的な取り組み

当JAは、農業者等の経営支援に関する具体的な取り組みとして、下記のような取り組みを実施しています。

- ア. 農業者をはじめとした地域活性化のための融資などの支援
  - ・生産者と消費者をつなげる場の設定
  - ・担い手に対する農業経営診断及び助言の強化
- イ. 担い手の経営の発展等に応じた支援
  - ・経営に対するコンサルティング
  - ・国又は地方公共団体との連携による農業施策の活用
  - ・営農担当者と連携した営農技術指導や適正農薬指導の実施
  - ・新規就農者等を対象とした新規就農塾の開催
  - ・税理士事務所と連携した経営・資産活用相談会の実施
- ウ. 農業者をはじめとした地域社会の情報の集積を活用した地域貢献
  - ・地場産野菜を用いた料理教室や親子農業体験教室の実施
  - ・行政と連携した食農教育事業の展開

### 3. 金融再生法開示債権(単体)

(単位：百万円)

債権区分	平成28年8月末	平成28年2月末	増 減	(参考) 平成28年8月末 購買未収金
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	516	524	△7	35
危険債権	293	144	149	53
要管理債権	49	66	△16	—
正常債権	34,083	33,645	437	681
合計	34,943	34,380	563	770

(注) 1. 平成28年2月末から8月末までの間に、債務者区分の変更が必要と認識した先については、8月末時点の債務者の状況に基づき債権区分を変更しています。

2. 債権区分は次の通りです。

①破産更生債権及びこれらに準ずる債権

- ・法的破綻等による経営破綻に陥っている債務者に対する債権です。

[資産査定における破綻先、実質破綻先]

②危険債権

- ・経営破綻の状況にはないが、財政状況の悪化等により元本利息の回収ができない可能性の高い債権です。

[資産査定における破綻懸念先]

### ③要管理債権

- ・ 3か月以上延滞貸出債権及び条件緩和貸出債権です。

〔資産査定における要管理先債権額のうち3か月以上延滞貸出金及び貸出条件緩和貸出金〕

### ④正常債権

- ・ 債務者の財政状態及び経営成績に特に問題がないものとして、破産更生債権及びこれらに準ずる債権、危険債権及び要管理債権以外のものに区分される信用事業債権です。地方公共団体等への債権も含まれております。

## 4. 単体自己資本比率

平成28年8月末	平成28年2月末
21.78%程度	20.93%

(注) バーゼルⅢを踏まえた新国内基準で算出しております。また、8月末は、当J Aの上半期仮決算データを基に算出しており、確定した決算に基づく数値ではありません。

## 5. 主要勘定の状況

(単位：百万円)

	平成28年8月末	平成28年2月末	平成27年8月末
貯 金	175,501	175,894	170,503
貸 出 金	34,346	34,257	35,076
預 金	132,693	132,216	126,297
有価証券	9,435	10,687	9,745
(参考) 購買未収金	770	765	768

(注) 有価証券は、2月末は時価評価後、8月末は償却原価後の残高です。

## 6. 有価証券等時価情報

(単位：百万円)

区分 項目	平成28年8月末			平成28年2月末		
	取得価額	時 価	評価損益	取得価額	時 価	評価損益
売 買 目 的	—	—	—	—	—	—
満期保有目的	2,604	2,811	206	2,604	2,839	234
そ の 他	6,830	7,620	779	7,240	8,082	841
合 計	9,435	10,431	985	9,845	10,921	1,075

(注) 1. 本表記載の有価証券の時価は、8月末日における市場価格等に基づく時価により計上したものです。

2. 売買目的有価証券については、当J Aでは投機的運用を行わないため保有しておりません。

3. 取得価額は償却原価法（アモチ・アキュム）適用後、減損処理前のものです。

## 7. 平成28年度上半期のトピックス 等

### ① 第19回通常総代会開催

5月25日（水）にJAはが野第19回通常総代会が真岡市民会館で開かれ、定款の一部変更や創造的自己改革への挑戦3か年計画の設定など、重要な議案が承認されました。



### ② いちご販売額90億円達成記念大会



7月27日（水）に真岡市フォーシーズン静風で、いちごの販売額90億円達成の記念大会が開かれ、優秀な実績を残した生産者を表彰しました。また、平成29年産の栽培・販売対策の申し合わせを行い、目標販売額を新たに100億円に設定し、達成に向け誓い合いました。

### ③ 各地区未来ちゃんクラブ活動

平成14年度からはじまった未来ちゃんクラブも15年目を迎え、地域毎の特色を生かし、年々充実した活動が行われています。

今年度は全地区で213名の子供たちが様々な体験を通じて食と農に親しんでいます。



### ④ 女性会活動



各地区を中心に活動しており、本部活動は（健康管理・地産地消・編集・文化・組織強化）の倶楽部が中心となっています。

8月21日（日）に真岡市民会館で女性会フェスティバルを開催し、会員の体験発表を行いました。また、記念講演では漫才師の島田洋七氏が軽妙な語り口で、会員やJA関係者約600名を笑いの渦に巻き込みました。

## 8. 平成28年度下半期の取り組み

### ① 自己改革について

#### 【農業者の所得増大・農業生産の拡大に向けた取り組み】

- ・担い手サポート事業として、規模拡大や営農継続等のニーズが推測される担い手宅へ、営農、経済、金融の各担当者が3人1組で出向き、総合的に支援します。
- ・飼料用米の作付拡大の推進や、米のインターネット販売等、新たなニーズの開拓・販路の拡大を図ります。
- ・パッケージセンターでは、マーケットイン（消費者ニーズ）に対応したアイテム（商品荷姿）に取り組み、農業所得の増大に繋がります。
- ・生産資材の都度値引きの拡大や生産資材助成金、市況価格調査に取り組み、生産コスト削減による農業所得の増大を図ります。

#### 【豊かで暮らしやすい地域社会の実現に向けた取り組み】

- ・インターネットによる各種ローン事前審査受付サービスにより、事前審査のための来店及び書類作成不要等、利用者の負担軽減に努めます。
- ・生命共済新契約申込時の書類記入等が大幅に簡素化されるタブレット型端末機を活用することで、契約者の負担軽減に努めます。
- ・地域の女性の生活の充実と仲間づくり・交流の場を提供するために、「女性大学・女性大学院」を開催します。

### ② 休日ローン相談会

「毎月 第4日曜日 各支店にて開催」 9:00～16:00

開催日	11月27日	1月22日
	12月25日	2月26日

### ③ 年金無料相談会

年金を受給される方は、お手続き前にご相談下さい。

年金の専門家（社会保険労務士）がわかりやすく相談に応じます。

開催日	開催場所	開催日	開催場所
11月5日(土)	二宮支店	1月15日(日)	真岡支店
11月6日(日)	真岡支店	1月29日(日)	芳賀支店
12月9日(金)	市貝支店	2月10日(金)	茂木支店
12月10日(土)	益子支店	2月12日(日)	二宮支店
事前にご予約下さい。		2月18日(土)	益子支店

『上記のような取り組みを行うとともに、今後も経営の透明性・健全性・信頼性のさらなる向上に努め、組合員・利用者の皆様のご期待に応えて参ります。』

はが野農業協同組合